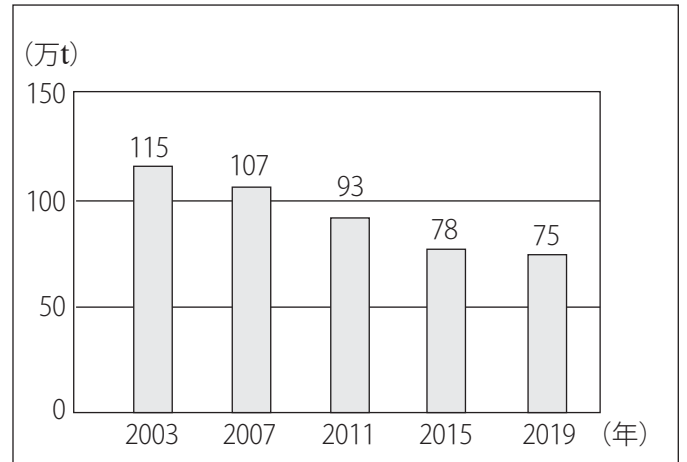
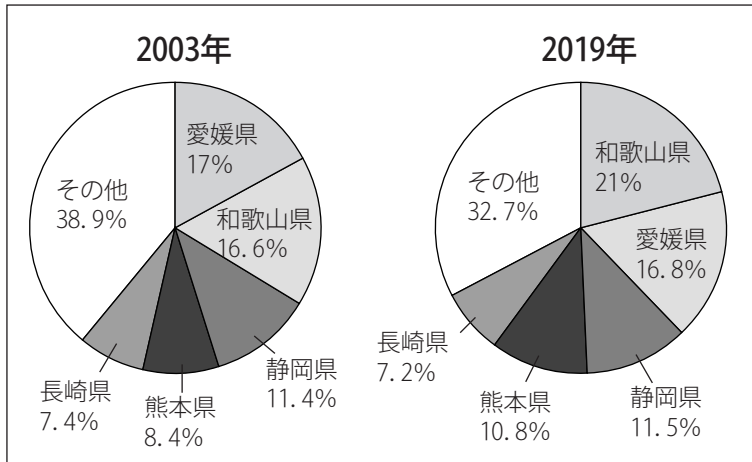


## ☆社会・資料分析問題 2022年 和歌山県共通

みどりさんたちは、学習発表会で配られた2つの資料を見ながら話をしています。

### 資料1 都道府県別のみかんのしゅうかく量の割合 資料2 全国のみかんのしゅうかく量



農林水産省「作物統計」から作成

みどり：資料1を見ると、和歌山県のみかんのしゅうかく量は、2003年は全国2位だったけれど、2019年では全国1位になっているね。

あきら：愛媛県や静岡県の上り割合は、2003年と2019年であまり変わっていないけれど、和歌山県の上り割合は2003年の16.6%から2019年には21%に増えているね。

和歌山県の上り割合は、2019年のほうが2003年より増えているのかな。

みどり：資料2を見ると、全国のみかんのしゅうかく量は減っているよ。和歌山県はどうかな。

#### ■問題

和歌山県の2019年のみかんのしゅうかく量は、2003年のみかんのしゅうかく量と比べて増えていますか、それとも減っていますか。ことばや式などを使って説明してみよう。

# ☆社会・資料分析問題 2022年 栃木県共通

よしお：おじいちゃんが子どものころに通っていた小学校のことが新聞の記事に出ているね。

近くの学校と統合されるって書いてあるよ。

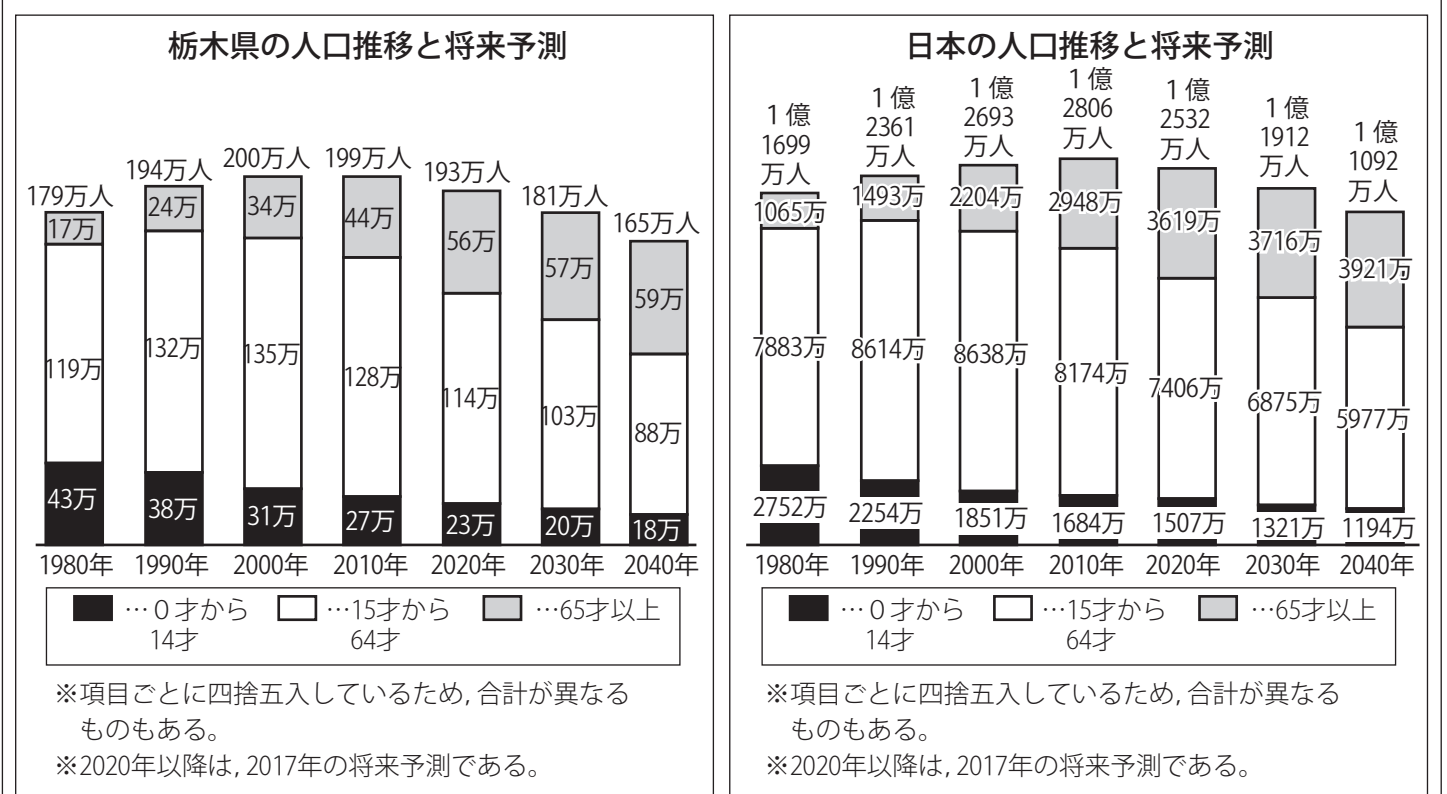
祖父：子どもの数が減ってきているからね。ちょっとさびしいけれど、<sup>へいこう</sup>閉校となった学校をうまく活用するなどして、人が集まってきてくれたらうれしいな。

よしお：このような新聞の記事をときどき見かけるようになってきたよ。子どもの数が減っているということは、栃木県や日本の人口も減っているのかな。

祖父：じゃあ、この資料(図1)を見てごらん。栃木県と日本の人口<sup>すいい</sup>推移と将来<sup>しょうらい</sup>予測を表しているよ。

よしおは、どんなことに気づくかな。

図1 祖父が見せてくれた資料



(「国立社会保障・人口問題研究所ウェブサイト」, 「栃木県ウェブサイト」をもとに作成)

次のアからオの内容について、図1の資料から読み取れることとして適切なものには○を、適切でないものには×を、それぞれ書きなさい。

ア：0才から14才の人口は、栃木県と日本のどちらも減少してきており、特に中学生の減少により、将来も減少していくと予想されている。

イ：65才以上の人口は、栃木県と日本のどちらも増加してきており、将来も、引き続き増加していくと予想されている。

ウ：栃木県の総人口と日本の総人口は、どちらも増加していく時期があったが、将来は、どちらも減少していくと予想されている。

エ：2040年の0才から14才の人口は、1980年の0～14才の人口と比かすると、栃木県と日本のどちらも半分以上になると予想されている。

オ：15才から64才の人口は、栃木県と日本のどちらも増加していく時期があったが、2040年にはどちらも総人口の5割を下回ると予想されている。

資料から読み取れることを述べた文として適当なものを、次のア～エの中から二つ選び、その記号を書いてください。

資料 ある年の日本国内におけるキウイフルーツ 1 kg 当たりのおろし売り価格

(単位：円)

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
日本産キウイフルーツ	510	519	536	539	418	578	665	289	449	665	565	522
輸入キウイフルーツ	427	433	446	650	562	559	588	588	596	584	550	477

おろし売り価格とは、生産者などから商品を仕入れる業者が、スーパーマーケットなどに商品を売るときの価格のことである。

(農林水産省の統計による)

ア：それぞれの月で、1 kg 当たりのおろし売り価格を比べると、いずれの月も、日本産キウイフルーツよりも輸入キウイフルーツのほうが安い。

イ：輸入キウイフルーツ 1 kg 当たりのおろし売り価格が500円以下の月は、いずれの月も、日本産キウイフルーツ 1 kg 当たりのおろし売り価格が500円以上である。

ウ：輸入キウイフルーツ 1 kg 当たりのおろし売り価格が一番高い月の、日本産キウイフルーツ 1 kg 当たりのおろし売り価格と、輸入キウイフルーツ 1 kg 当たりのおろし売り価格との差は、131円である。

エ：日本産キウイフルーツ 1 kg 当たりのおろし売り価格と、輸入キウイフルーツ 1 kg 当たりのおろし売り価格との差が最も小さい月は、11月である。

健次さんは家族と買い物に行ったとき、こう貨、お札などの現金だけでなく、カードなどを使って買い物をしている人がいることに興味をもち、お金について調べることにしました。

健次さんは、お母さんから、現金を使わずに支払うキャッシュレス決済について教えてもらい、家にもどってから、キャッシュレス決済について調べ、次のような項目を見つけました。

表 日本におけるキャッシュレス決済比率<sup>\*1</sup>の変化

項目	年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
クレジットカードでの決済 <sup>*2</sup>		16.5%	18.0%	19.2%	21.9%	24.0%
デビットカードでの決済 <sup>*3</sup>		0.1%	0.3%	0.4%	0.4%	0.6%
電子マネーでの決済 <sup>*4</sup>		1.5%	1.7%	1.7%	1.8%	1.9%
QRコードでの決済 <sup>*5</sup>					0.1%	0.3%
計		18.1%	20.0%	21.3%	24.2%	26.8%

(経済産業省の資料をもとに作成)

- ※1 「年間支払い金額」のうち「キャッシュレス決済による年間支払い金額」の割合。
- ※2 商品を先に手に入れ、後日、決められた日までにお金を支払うこと。
- ※3 商品を買うと同時に、銀行の口座からお金を支払うこと。
- ※4 お金をデータに置きかえたもので支払うこと。(例：プリペイドカードで支払う。)
- ※5 QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標である。また、「QRコードでの決済」の割合には、「QRコードを用いたクレジットカード等での決済」はふくまれていない。

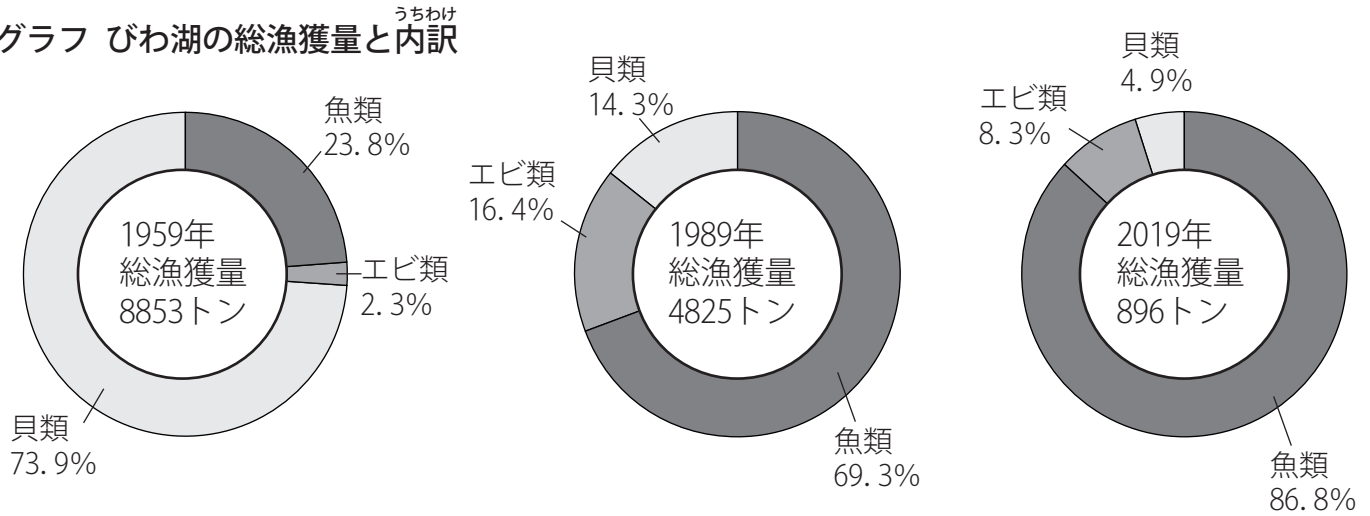
この表から読み取ることのできることを正しいものを、次のア～エの中からすべて選び、記号で書きましょう。

- ア：キャッシュレス決済比率は毎年高くなっていて、キャッシュレス決済比率を項目別に見ると、毎年「クレジットカードでの決済」の割合が最も高い。
- イ：「デビットカードでの決済」の割合を見ると、2015年の割合は2019年の割合の6倍である。
- ウ：「QRコードでの決済」の割合を見ると、2018年の割合は2019年の割合の3分の1である。
- エ：2017年のキャッシュレス決済比率を見ると、「QRコードでの決済」を除いたすべての項目で2016年の割合より高くなっている。

## ☆社会・資料分析問題 2022年 滋賀県共通

ふゆのさんは、滋賀県の水産業について調べ、びわ湖の漁獲量に関するグラフを見つけました。

グラフ びわ湖の総漁獲量と内訳



(近畿農政局 滋賀農政事務所「滋賀農林水産統計年報」  
・農林水産省「内水面漁業生産統計調査」より作成)

### ■問題

3つの円グラフについての説明として正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選んで、記号で答えましょう。

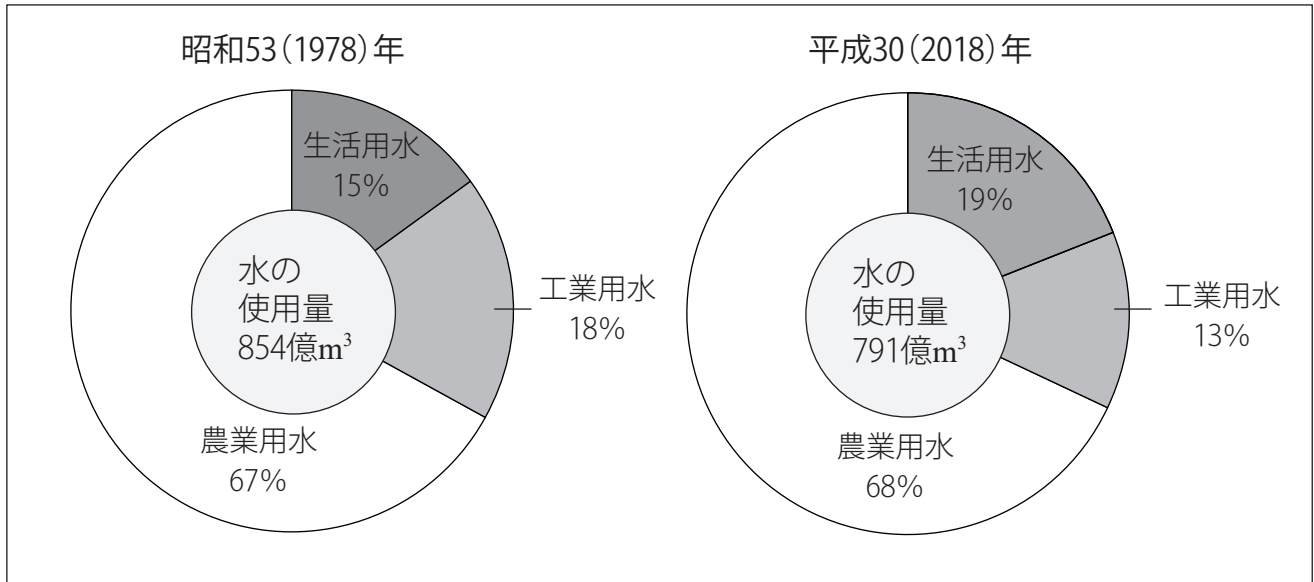
- ア：1959年と1989年を比べると、魚類の漁獲量は約4000トン減少した。
- イ：1959年と1989年を比べると、貝類の漁獲量は5000トン以上減少した。
- ウ：1959年と2019年を比べると、びわ湖の総漁獲量は10%以下に減少した。
- エ：1989年と2019年を比べると、エビ類の漁獲量は約半分に減少した。

## ☆社会・資料分析問題 2022年 新潟県共通

私たちが使用する水は、使い道によって、生活用水、工業用水、農業用水に分類されています。

次の資料は、昭和53(1978)年と平成30(2018)年の日本における水の使用量と、水の使用量にしめる、生活用水、工業用水、農業用水のおよその割合を円グラフで表したものです。

### 資料



(国土交通省「令和3年版日本の水資源の現況」より作成)

資料について、平成30(2018)年の生活用水の使用量は、昭和53(1978)年の生活用水の使用量と比べると、どのくらい増えていますか。

その答えと、そのような判断のもととなった計算式を書きましょう。

お母さん：回収されたプラスチックは、ごみとして処分されるものもあるけど、プラスチック製品の材料として再利用したり、燃やした熱を利用して発電したり、さまざまな方法でリサイクルされているのよ。プラスチック製品の材料になるものの中には、「プラスチックくず」として輸出されているものもあるのよ。

れいさん：へえ、じゃあ、プラスチックはたくさん回収された方がいいんだね。

お母さん：そうね。でも、回収されなかったプラスチックは、地球の環境に影響をあたえると言われているから、その量を世界規模で減らしていく必要があるのよ。

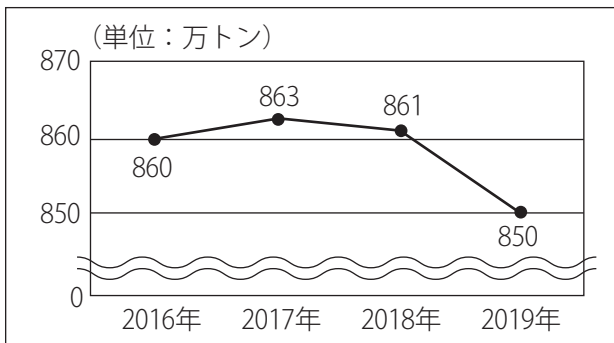
■問題

「輸出されているものもある」とありますが、次の資料1と資料2を正しく説明しているものを、あとのア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

資料1 日本の<sup>はい</sup>廃プラスチック排出量

\*廃プラスチック：家庭や工場などから使用後に排出されるプラスチックのこと

資料2 主な5つの国・地域への日本からのプラスチックくずの輸出量(単位：万トン)



輸出相手国・地域	2016年	2017年	2018年	2019年
マレーシア	3.3	7.5	22.0	26.2
タイ	2.5	5.8	18.8	10.2
香港	49.3	27.5	5.4	5.7
インド	0.4	0.8	2.1	2.8
中国	80.3	74.9	4.6	1.9

(プラスチック循環利用協会「プラスチックリサイクルの基礎知識」より作成)

(財務省「貿易統計」より作成)

- ア：2016年の中国へのプラスチックくずの輸出量は、その年の日本の廃プラスチックの排出量の3分の1以上である。
- イ：2017年のマレーシア、タイ、香港へのプラスチックくずの輸出量を合計しても、その年の日本の廃プラスチックの排出量の5%より少ない。
- ウ：2019年の主な5つの国・地域へのプラスチックくずの輸出量の合計は、その年の日本の廃プラスチックの排出量の2割以上になる。
- エ：2016年から2019年までの間、主な5つの国・地域へのプラスチックくずの輸出量の合計は減り続けているが、日本の廃プラスチックの排出量は増え続けている。

# ☆社会・資料分析問題 2022年 石川県立金沢錦丘中学校

太郎さんは、A市をおとずれた観光客2000人にとってアンケートの結果が整理されている【資料1】と【資料2】を、インターネットで見つけました。

## 【資料1】

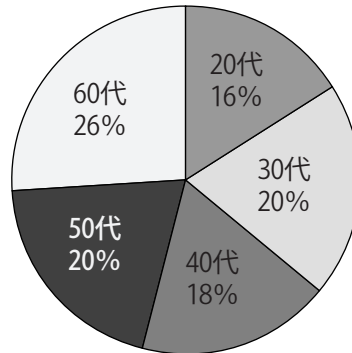
A市をおとずれた目的

目的	人数(人)
温せんめぐり	680
名所観光	420
グルメ	400
遊園地	190
その他	310
合計	2000

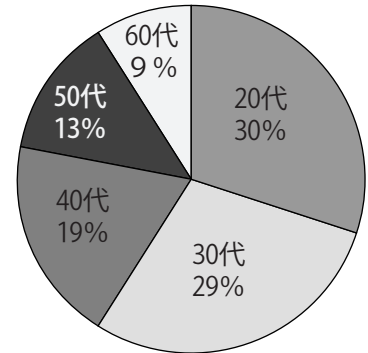
## 【資料2】

【資料1】で名所観光, 遊園地と答えた人の年代別の割合

名所観光



遊園地



太郎さんは2つの資料を見て、「名所観光と答えた20代の割合よりも、遊園地と答えた20代の割合のほうが大きいです。だから、名所観光よりも遊園地と答えた20代の人数のほうが多いです。」と言いました。

太郎さんが言っている、下線部のことは正しくありません。

その理由を、言葉と式を使って書きましょう。



ゆりさんとたろうさんのグループは、インターネットについて調べ、総合的な学習の時間に発表することになりました。次の問いに答えましょう。

世界におけるインターネットの利用について調べていたゆりさんは、次の【資料】を見つけました。

【資料】から読み取れることとして最も適切なものを、あとのア～エから一つ選び、記号で答えましょう。

**【資料】 世界の主な国のインターネット利用者数と利用者率**

国名	利用者数(万人)			利用者率(%)
	1997年	2010年	2014年	2017年
日本	716	10123	11504	90.9
韓国	155	4033	4175	95.1
中国	62	46008	68714	54.3
インド	13	9185	22813	34.5
南アフリカ	48	617	2604	56.2
ドイツ	573	6737	7124	84.4
フランス	185	5029	5414	80.5
スウェーデン	123	844	891	96.4
アメリカ	5073	24520	28181	87.3
ブラジル	112	7925	11637	67.5
オーストラリア	233	1692	1998	86.5
世界計	9622	201824	291842	48.0

2017年の利用者数の世界計：357837万人

(「データブック・オブ・ザ・ワールド2019年版・2020年版」より作成)

ア：2017年のインターネット利用者率が最も高い国は、アメリカである。

イ：2010年から2014年のインターネット利用者数の\*増加率は、日本、韓国、ドイツ、フランス、スウェーデンでは10%未満である。

ウ：2017年のインドのインターネットの利用者率は、表中の国の中で最も低いが、1997年から2014年にかけて、利用者数は1700倍以上になっており、大きく増加している。

エ：2017年の世界のインターネット利用者数は、2010年の約17倍になっている。

\*増加率……増加後の量が増加前の量と比べてどの程度増えているかを示す。

(増加後の量÷増加前の量－1)×100で求められる。

【発表】

りょう：私たちのグループでは、私たちがくらしている京都府に注目し、「茶の生産量」について調べました。京都府は、全国で最も多く茶を生産している都道府県とどうふけんだと考えていました。しかし、資料「茶の生産量上位10都道府県」を見ると、茶の生産量は静岡県や鹿児島県の方が京都府より何倍も多いことが分かりました。

みか：茶の生産量が多い都道府県は、静岡県や三重県のように太平洋に面している県が多く、あたたかい気候のところが多くみられます。一方で、奈良県のように海に面していない内陸の県の中でもさかんに生産されているところがあります。

資料 茶の生産量上位10都道府県 [全国の茶の総生産量は83,600トン]

順位	都道府県	生産量	順位	都道府県	生産量
1位	静岡県	33,100トン	6位	福岡県	2,170トン
2位	鹿児島県	24,600トン	7位	奈良県	1,810トン
3位	三重県	6,770トン	8位	佐賀県	1,350トン
4位	宮崎県	3,870トン	9位	熊本県	1,300トン
5位	京都府	2,920トン	10位	愛知県	908トン

(農林水産省 作物統計調査 平成26年産 作物統計より作成)

■問題

【発表】に関連して、資料について説明したものとして正しいものを次のア～オからすべて選び、記号で答えなさい。

- ア：茶の生産量が多い都道府県は、九州地方や近畿地方きんき、中部地方に多く、静岡県と鹿児島県で全国を生産量の半分以上をしめる。
- イ：京都府の茶の生産量は、静岡県の約5分の1、鹿児島県の約4分の1ほどだが、近畿地方では三重県に次いで2番目に多い。
- ウ：京都府の茶の生産量は、関東地方で最も多い都道府県の生産量にくらべて、約2倍である。
- エ：茶の生産量が全国の上位5位までの都道府県の中には、都道府県名と都道府県庁所在地名が異なるところがある。
- オ：静岡県の茶の生産量は、近畿地方の茶の生産量上位3府県の生産量の合計よりも多い。

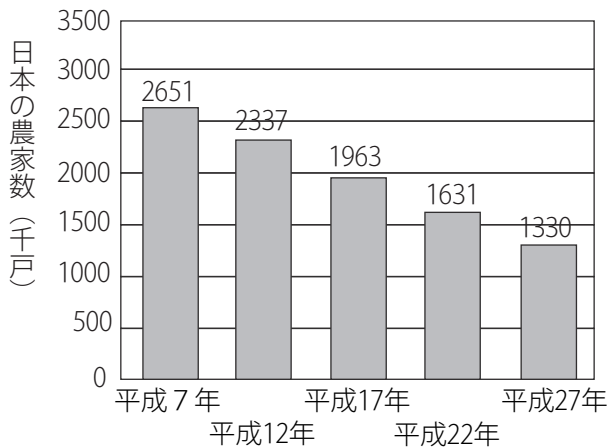
【発表1】

たろう：私たちのグループは「日本の農業の課題」について調べました。資料1は「日本の農家のうつりかわり」を、資料2は「日本の年れい別農業人口のうつりかわり」をそれぞれ5年ごとに表したグラフです。このグラフを見てください。

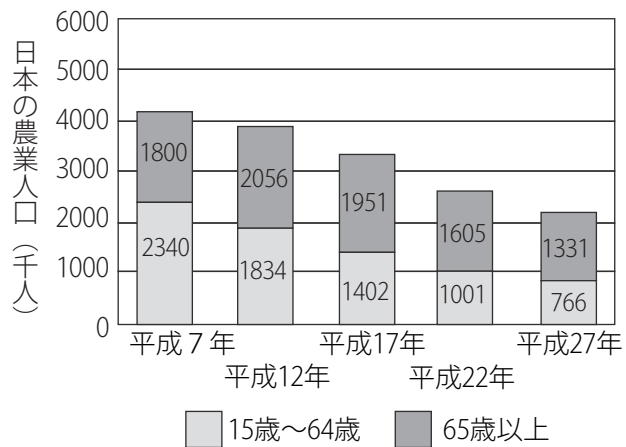
りか：資料1をみると、日本の農家数は平成7年から平成27年にかけて減少していることが分かります。

たろう：資料2をみると、15歳～64歳の農業人口が大幅に減っています。働く人を増やすための取り組みもさかんに行われていますが、働き手は増えていないようです。

資料1 日本の農家数のうつりかわり



資料2 日本の年れい別農業人口のうつりかわり



(農林水産省「農林業センサスより作成」)

■問題1

【発表1】に関連して、資料1と資料2からわかることとして適切なものを次のア～オから2つ選び、記号で答えなさい。

ア：平成7年から平成27年までを5年ごとにみると、日本の農家数は約50万戸ずつ、日本の農業人口は約50万人ずつ減少している。

イ：日本の農家数は平成12年から平成17年の5年間で最も大きく減少し、日本の農業人口も平成12年から平成17年の5年間で最も大きく減少している。

ウ：平成7年の日本の農業人口における65歳以上がしめる割合にくらべて、平成22年の日本の農業人口における65歳以上がしめる割合は高くなっている。

エ：15歳～64歳の日本の農業人口は減少し続け、平成27年には日本の農業人口全体の約6割になった。

オ：平成7年から平成27年までの20年間で日本の農家数と日本の農業人口はともに約半数に減少した。

先生：今は何を調べているのですか。

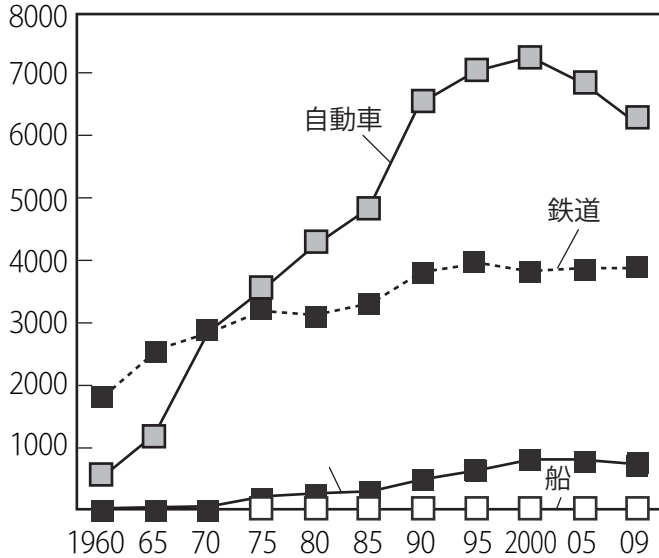
太郎さん：今は、資料を使って、国内の人や貨物の輸送量の変化について調べているところです。

先生：それはよい視点ですね。

資料 国内の輸送機関別の人の輸送量と貨物の輸送量の変化

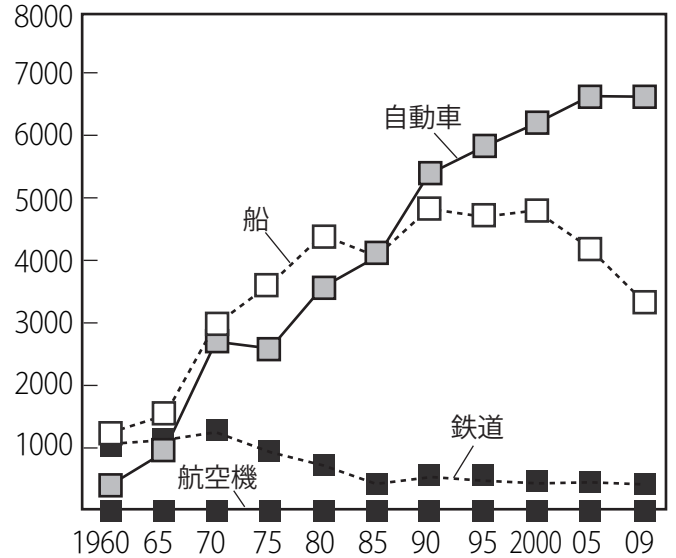
人の輸送量

(億人キロ)



貨物の輸送量

(億※トンキロ)



※トンキロ……輸送量を表す単位。貨物の重さ(トン)に運んだきより(km)をかけて求める。

(運輸総合研究所「交通経済統計要覧 平成31年・令和元年版」をもとに作成)

■問題

資料から読み取れることとして正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア：2009年時点で人と貨物の輸送量がともに最も多いのは自動車で、どちらも1970年から1980年の間に鉄道による輸送量を上回った。
- イ：2009年の鉄道による人の輸送量と貨物の輸送量は1960年と比べて、ともに2倍以上に増加した。
- ウ：航空機による人の輸送量は、1990年から2009年にかけて増加しているが、2009年の人の輸送量は4つの輸送機関のうち、最も少ない。
- エ：2009年の船による人の輸送量は、自動車に比べて少ないが、貨物の輸送量は自動車の次に多く、1960年から1980年までの間の貨物の輸送量は自動車よりも多かった。

花子さんは、サウジアラビア出身の友人と会ってきたお父さんと話をしています。

**【花子さんとお父さんの会話】**

花子さん：総合的な学習の時間の調べ学習のテーマを考えているのですが、サウジアラビアをテーマにしようと思っています。

お父さん：それはいいね。日本とも関わりが深い国だからね。

花子さん：まずは、国土面積や人口など、基本的なことから調べることにします。

お父さん：サウジアラビアだけを調べるのではなく、日本と比べて考えると、よりサウジアラビアの特色がとらえやすくなると思うよ。

花子さん：はい。そうします。ここにサウジアラビアと日本に関する資料があるので、これを使って考えてみます。

**資料 サウジアラビアと日本**

(国土面積は2015年, それ以外は2017年のデータ。)

	国土面積 (千km <sup>2</sup> )	人口 (千人)	※ <sup>1</sup> 土地 面積 (千km <sup>2</sup> )	農地		年降水総量 <sup>こう</sup>		資源 <sup>げん</sup> として 使える水の量	
				耕地 (千km <sup>2</sup> )	牧場・ 牧草地 (千km <sup>2</sup> )	計 (km <sup>2</sup> )	1人 あたり (m <sup>3</sup> )	計 (km <sup>2</sup> )	1人 あたり (m <sup>3</sup> )
サウジア ラビア	2207	32938	2150	36	1700	126.8	3850	2.4	73
日本	378	127484	365	44	6	630.3	4844	430.0	3373

(「世界国勢図会 2017/18年版」, 「データブック オブ・ザ・ワールド 2021年版」, AQUASTATをもとに作成)

※ 1 土地面積……国土面積から、川や湖の面積をのぞいた面積。

■問題

資料から読み取れることとして正しいものを、次のア～オの中からすべて選び、記号で答えなさい。

ア：国土面積を比べると、サウジアラビアは日本の8倍をこえる。

イ：人口を比べると、サウジアラビアは日本の約4倍である。

ウ：サウジアラビアでは、耕地は土地面積の2%に満たない。

エ：1人あたりの年降水総量を比べると、サウジアラビアは日本の8割<sup>わり</sup>に満たない。

オ：1人あたりの資源として使える水の量を比べると、サウジアラビアは日本の1%に満たない。

太郎さん：鉄道や自動車は、どのくらいの人を輸送しているのでしょうか。

先生：資料1を見てください。これは、国内の人の輸送について表したものです。

太郎さん：この「輸送量」とはなんですか。

先生：「輸送量」とは、ある輸送機関が運んだ人や貨物の量のことで、人を輸送した場合、「人キロ」という単位で表します。人の輸送量は、輸送した「人の数」に輸送した「きより」をかけて求められます。例えば、1億人を10km運ぶと、10億人キロになります。

太郎さん：資料1を見ると、新幹線を含む鉄道全体と新幹線にはちがいがあるのですね。鉄道、自動車、航空機についてどのようなことが言えるか、調べてみたいと思います。

資料1 主な国内の人の輸送(2019年度)

輸送機関	輸送した人数 (億人)	輸送量(億人キロ)	1人あたりの平均 利用きより(km)
鉄道全体	251.9	4350.6	17.3
新幹線	3.7	993.3	268.5
自動車	697.0	9096.0	13.1
航空機	1.0	945.9	945.9

(「日本国勢図会 2021/22年版」をもとに作成)

(注) 1人あたりの平均利用きより(km)は、輸送量を輸送した人数で割<sup>わ</sup>って算出した。

■問題

太郎さんは、資料1から読み取って考えたことを、【太郎さんのまとめ】のようにまとめました。

【太郎さんのまとめ】の空らん「A」、「B」、「C」にあてはまる言葉の組み合わせとして正しいものを、次のア～カの中から1つ選び、記号で答えなさい。また、空らん「D」にあてはまる数字を、小数第1位を四捨五入して整数で答えなさい。

ア	A 輸送した人数	B 輸送量	C 1人あたりの平均利用きよりが長い
イ	A 輸送した人数	B 1人あたりの平均利用きより	C 輸送量が多い
ウ	A 輸送量	B 輸送した人数	C 1人あたりの平均利用きよりが長い
エ	A 輸送量	B 1人あたりの平均利用きより	C 輸送した人数が多い
オ	A 1人あたりの平均利用きより	B 輸送した人数	C 輸送量が多い
カ	A 1人あたりの平均利用きより	B 輸送量	C 1人あたりの平均利用きよりが長い

**【太郎さんのまとめ】**

主な国内の人の輸送について

・鉄道

新幹線の「A」は鉄道全体の2%未満と少ないが、「B」は鉄道全体の約23%をしめている。  
これは、新幹線のほうが新幹線以外の鉄道と比べ、より乗客の「C」ことによる。

・自動車

輸送量は、鉄道全体・自動車・航空機を合わせた全体の約「D」%をしめている。  
また、輸送した人数は、鉄道全体・自動車・航空機を合わせた全体の約73%をしめており、  
多くの人に使われている交通手段<sup>だん</sup>であると考えられる。

・航空機

航空機の輸送量は、鉄道全体や自動車より少ない。しかし、1人あたりの平均利用きよりは、  
鉄道全体の約55倍となり、他のどの輸送機関よりも長い。これは、航空機が長いきよりの  
移動によく利用されるからだと考えられる。

太郎さん：ごみを減らすために行われている取り組みを調べることにしました。まずは、さいたま市のごみの処理量と人口の変化を調べていて、資料1と資料2を見つけました。

先生：調べていて気づいたことはありますか。

太郎さん：資料1の2019年度には水害による災害ごみがふくまれていることがわかったので、他の年に着目してみました。2018年度まではごみの総排出量は毎年減少していますが、2020年度は、2018年度よりも増加しています。

先生：1人あたりの1年間のごみの排出量はどのようになっていますか。

太郎さん：資料1のごみの総排出量と資料2を用いて1人あたりの1年間のごみの排出量を計算してみると、2020年度は、2018年度と比べて「A」しています。

先生：そのとおりですね。他にどのようなことがわかりましたか。

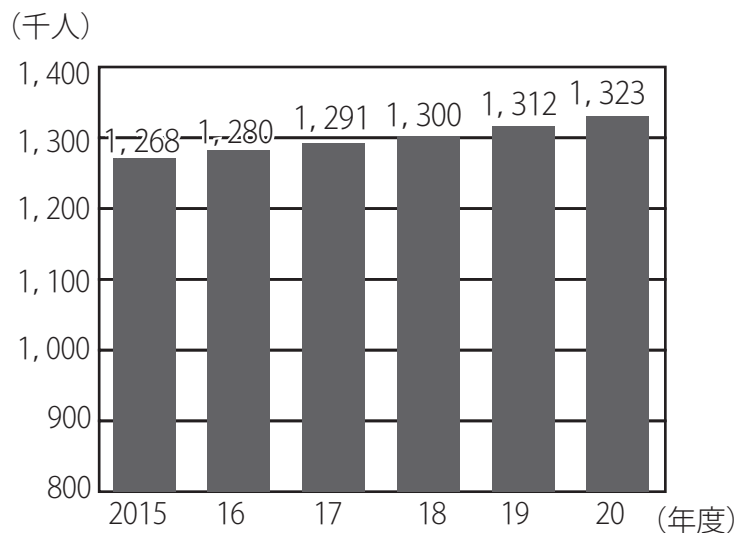
太郎さん：ごみの最終処分量をごみの総排出量で割ったものを百分率で表したものを最終処分率といいます。資料1から2020年度の最終処分率を計算すると約2.85%で、2015年度と比べて「B」しています。

先生：そうですね。さいたま市では、ごみを減らすためのさまざまな努力をしているようですね。

資料1 さいたま市のごみの処理量の変化

年度	ごみの総排出量(t)	最終処分量(うめ立て量)(t)
2015	423,694	15,474
2016	415,997	15,113
2017	415,385	15,515
2018	414,376	13,566
2019	422,930	13,326
2020	418,196	11,912

資料2 さいたま市の人口の変化



資料1および資料2はさいたま市ウェブサイトをもとに作成)

■問題

資料1, 資料2から読み取れることをもとに【太郎さんと先生の会話】にある空らん「A」, 「B」にあてはまる内容として正しい組み合わせを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「A」増加 「B」増加
- イ 「A」増加 「B」減少
- ウ 「A」減少 「B」増加
- エ 「A」減少 「B」減少



【太郎さんと先生の会話】

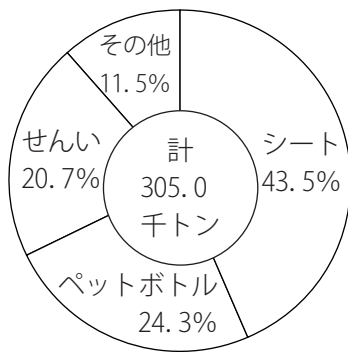
太郎さん：ペットボトルからペットボトルにリサイクルされることは、「ボトル <sup>トッ</sup>TO ボトル」と言う  
と聞きました。ペットボトルと同じく、飲み物の容器に使われるアルミかんも、分別してアルミ  
かんにリサイクルされるので「かん TO かん」と言うのですか。

先生：そうですね。そのように言うこともあるようです。

太郎さん：リサイクルの面で、何かちがいがあるのでしょうか。

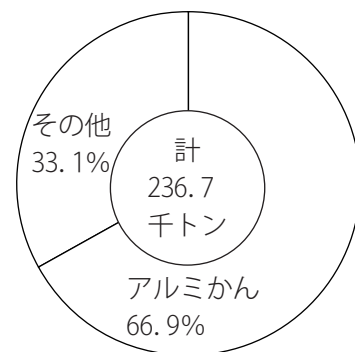
先生：次の資料1, 資料2をもとに、ペットボトルとアルミかんのリサイクルのちがいについて考えて  
みましょう。

資料1 ペットボトルの国内再生利用量と  
リサイクルの内訳(2019年)



(PETボトルリサイクル推進協議会  
PETボトルリサイクル年次報告書  
2020) をもとに作成

資料2 アルミかんの国内再生利用量と  
リサイクルの内訳(2019年)



(アルミ缶リサイクル協会「2020年(令和2年)度  
飲料用アルミ缶リサイクル率  
(再生利用率)について」をもとに作成)

■問題

太郎さんは、【太郎さんと先生の会話】と資料1, 資料2から読み取れることをもとに、【太郎さんの  
まとめ】を作成しました。次の(1), (2)に答えなさい。

【太郎さんのまとめ】

- 資料1から、回収されたペットボトルはシートに最も多くリサイクルされており、再びペット  
ボトルへとリサイクルされたものの重さは約「 A 」千トンである。
- 資料1, 資料2をもとに考えると、アルミかんの「かん TO かん」率は、ペットボトルの  
「ボトル TO ボトル」率に比べ「 B 」といえる。

(1)空らん「 A 」にあてはまる数値を計算し、小数第1位を四捨五入して整数で答えなさい。

(2)空らん「 B 」にあてはまる内容を、次のア, イの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 高い イ 低い

先生：生活の中でごみを増やさないようにするためには、どうしたらよいでしょうか。

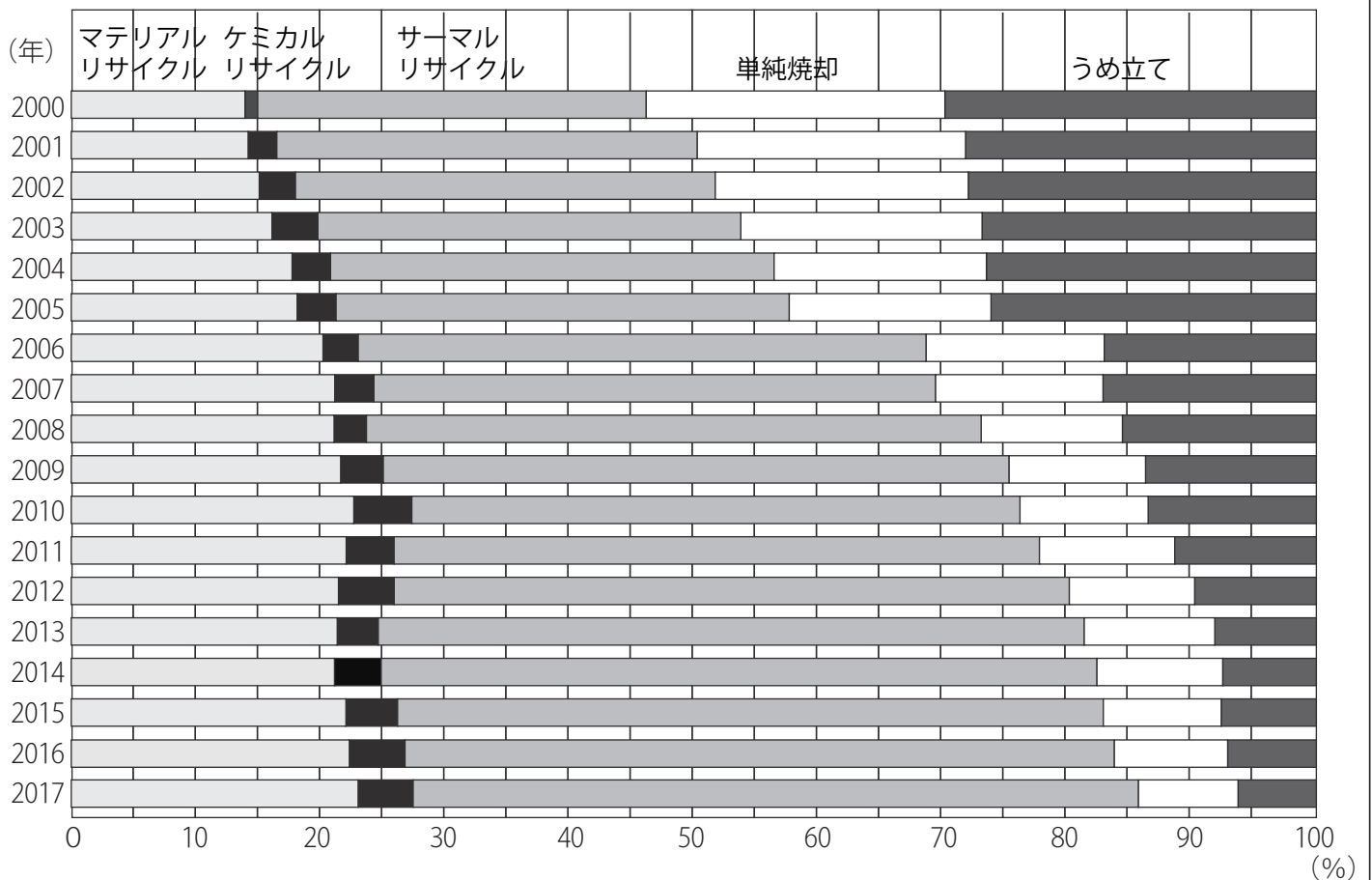
太郎さん：資源になるものと、そうでないものを分別する必要があります。たとえば食品包装にはプラスチックがよく使われています。プラスチックごみのリサイクルについて、調べようと思っています。

先生：プラスチックの原料は石油です。プラスチックごみについては、この資料1を見てください。

資料1は、廃プラスチックとよばれる捨てられたプラスチックのうち、有効利用率と未利用率の変化を示したものです。有効利用とは、「マテリアルリサイクル」「ケミカルリサイクル」「サーマルリサイクル」のことで、日本ではこの3つの方法をリサイクルととらえています。未利用は、単純焼却やうめ立てのことです。資料2に、この3つのリサイクル方法についての説明が示してあります。

太郎さん：リサイクルには、いろいろな方法があるのですね。

### 資料1 廃プラスチックの有効利用率・未利用率の変化



(プラスチック循環利用協会「プラスチックとリサイクル8つの『?』」をもとに作成)

資料2 廃プラスチックのリサイクルの種類

マテリアルリサイクル	ケミカルリサイクル	サーマルリサイクル
廃プラスチックを原料として、プラスチック製品に再生する方法	廃プラスチックを化学的に分解するなどして、化学原料に再生する方法	廃プラスチックを焼却して、熱エネルギーを回収する方法 <small>かいしゅう</small>

太郎さんと先生の会話をもとに資料1, 資料2から読み取れることとして適切でないものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア：廃プラスチックの有効利用率は、2000年から2017年にかけて毎年増加している。

イ：2017年の熱エネルギーを回収するリサイクルの割合は、2000年と比べて1.5倍以上に増加している。

ウ：2017年には、廃プラスチックの8割以上がプラスチック製品または化学原料にリサイクルされている。

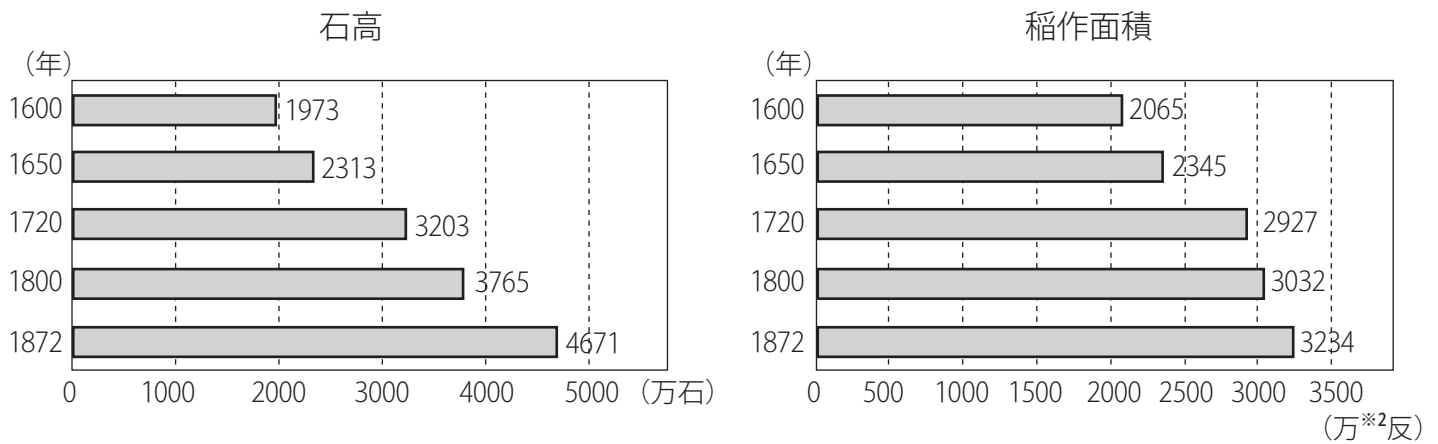
エ：2017年の廃プラスチックの未利用率は、2000年と比べて3分の1以下に減少している。

# ☆社会・資料分析問題 2022年 さいたま市立浦和中学校(稲作)

太郎さん：日本の稲作はどのように変化したのでしょうか。

花子さん：調べているときに、資料を見つけました。この資料を見て、考えてみましょう。

## 資料 ※1 石高と稲作面積の変化



(「岩波講座 日本経済の歴史第2巻」をもとに作成)

※1 石高……米(穀物)の収穫量を「石」という容積の単位で表したもの。  
1石は約180リットル。

※2 反……土地の面積を表す単位。当時の1反は現在の約992m<sup>2</sup>。

## ■問題

資料から読み取れることとして正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア：1872年の石高と稲作面積は、ともに1600年の2倍以上になっている。
- イ：1600年から1872年まで、石高と稲作面積はともに減少し続けている。
- ウ：1720年から1800年にかけて、稲作面積の増加率は石高の増加率より高い。
- エ：1600年と1800年の1反あたりの石高を比べると、1800年のほうが多い。

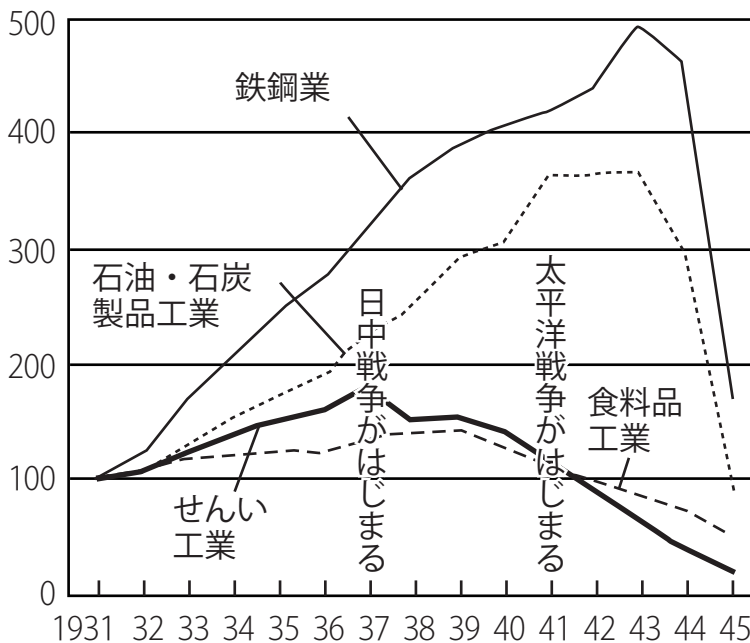
☆社会・資料分析問題 2022年 さいたま市立浦和中学校(生産指数)

太郎さん：<sup>たろう</sup>藍の生産について調べてみると、<sup>あい</sup>藍の生産は、1800年代後半に、合成染料の輸入などのえいきょうで減少したそうです。また、太平洋戦争中は、藍の生産が禁止されたそうです。

花子さん：なぜ、藍の生産が禁止されたのでしょうか。

太郎さん：わたしも疑問に思い、調べてみました。<sup>ぎ</sup>資料は、<sup>こう</sup>鉄鋼業、石油・石炭製品工業、せんい工業、食料品工業について、1931年の生産活動を100としたときの指数で生産活動の変化を示したものです。この資料から、「 A 」ことがわかります。

資料 生産指数の変化(1931~1945年)



(日本銀行統計局「復刻版明治以降本邦主要経済統計」をもとに作成)

【太郎さんと花子さんの会話】の空らん「 A 」にあてはまるものとして正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア：鉄鋼業の生産指数について、1942年は1931年と比べて4倍以上に増加している

イ：石油・石炭製品工業の生産指数について、日中戦争がはじまって以こう減少し続けている

ウ：せんい工業の生産指数について、1931年から1945年まで増加し続けている

エ：食料品工業の生産指数について、1938年は1931年に比べて減少している

☆社会・資料分析問題 2022年 さいたま市立浦和中学校(電子書籍) 一部改

日本の電子書籍の利用について調べた花子さんは、資料を見つけました。資料から読み取れることとして適切でないものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

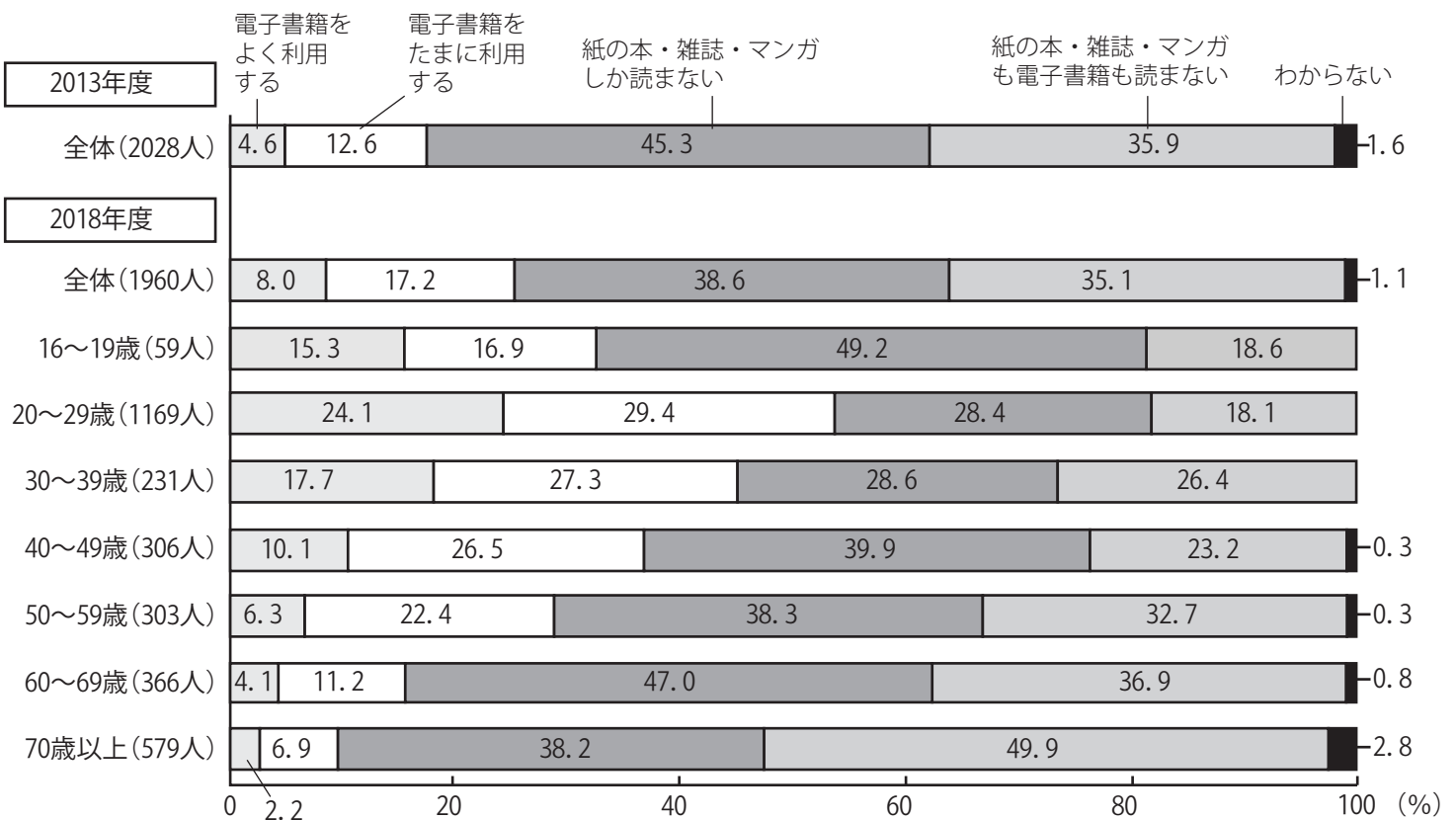
ア：2018年度の全体において、「電子書籍をよく利用する」と「電子書籍をたまに利用する」と答えた人の割合の合計は、全体の約4分の1である。

イ：2018年度において、「紙の本・雑誌・マンガも電子書籍も読まない」と答えた人の割合が最も高い年代は、70歳以上である。

ウ：2018年度において、「電子書籍をよく利用する」と「電子書籍をたまに利用する」と答えた人の割合の合計は、20～29歳、30～39歳ともに5割をこえている。

エ：2018年度の全体のほうが2013年度の全体よりも「電子書籍をよく利用する」と「電子書籍をたまに利用する」と答えた人の割合の合計が8%多い。

資料 電子書籍をふくむ書籍の利用状況



(文化庁「国語に関する世論調査」をもとに作成)

解答

A：資料1で、新幹線について「少ない」といえるのは「**輸送した人数**」で、鉄道全体に占める割合(%)を計算すると、

$$\frac{3.7}{251.9} \times 100 = 1.46\cdots \text{より、約}1.5\% \text{となり、}$$

**2%未満**であることが確認できます。

よって、Aは「**輸送した人数**」とわかります。

資料1 主な国内の人の輸送(2019年度)

輸送機関	輸送した人数(億人)	輸送量(億人キロ)	1人あたりの平均利用きより(km)
鉄道全体	251.9	4350.6	17.3
新幹線	3.7	993.3	268.5
自動車	697.0	9096.0	13.1
航空機	1.0	945.9	945.9

B：資料1で、新幹線について、**鉄道全体**に対する**輸送量**の割合(%)を計算すると、

$$\frac{993.3}{4350.6} \times 100 = 22.8\cdots \text{より、約}23\% \text{となっています。}$$

よって、Bは「**輸送量**」とわかります。

C：先生の発言「人の輸送量は、輸送した「人の数」に輸送した「きより」をかけて求められます。」

より、**新幹線は鉄道全体よりも「1人あたりの平均利用きより」が長い**ので、**輸送した人数**に比べて**輸送量**の割合が高くなると考えられます。

資料1 主な国内の人の輸送(2019年度)

輸送機関	輸送した人数(億人)	輸送量(億人キロ)	1人あたりの平均利用きより(km)
鉄道全体	251.9	4350.6	17.3
新幹線	3.7	993.3	268.5
自動車	697.0	9096.0	13.1
航空機	1.0	945.9	945.9

よって、Cは「**1人あたりの平均利用きよりが長い**」となります。

以上より、正しい組み合わせは、**ア**となります。

**ア** ……(答え)

「輸送した人数」×「1人あたりの平均利用きより」＝「輸送量」  
となっているよ！



☆社会・資料分析問題 2022年 さいたま市立大宮国際中等教育学校(輸送)解答②

D: 鉄道全体・自動車・航空機を合わせた

全体の輸送量は,

$$4350.6 + 9096.0 + 945.9 = 14392.5$$

となります。

このうち、自動車の輸送量がしめる

割合(%)は,

$$\frac{9096.0}{14392.5} \times 100 = 63.1\cdots \text{より、約}63\%$$

↑ 百分率で表すので100をかける

63 ……(答え)

資料1 主な国内の人の輸送(2019年度)

輸送機関	輸送した人数 (億人)	輸送量(億人キロ)	1人あたりの平均 利用きより(km)
鉄道全体	251.9	4350.6	17.3
新幹線	3.7	993.3	268.5
自動車	697.0	9096.0	13.1
航空機	1.0	945.9	945.9



本pdfデータは

**「2022年版 適性検査・社会・資料分析問題  
過去問題解説集」**

の問題と解答の一部を紹介した  
サンプルになります。

どの市販の参考書・問題集よりもわかりやすい  
解説集になっています！

商品は

**『自宅でできる受験対策ショッ  
ワカルー Wakaru-!』**

からご購入いただけます。